



# 式典

式典次第

開始式・表彰式参加にあたっての留意事項

開始式会場図

開始式座席エリア図

表彰式座席図

開始式出演者一覧



# 式典次第

【第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会】

## 開 始 式

期 日 2024年1月27日(土)  
場 所 苫小牧市民会館

順	次 第	時 刻
1	開場	16:30
2	役員・選手団集合開始	16:30
3	役員・選手団着席完了	17:05
4	歓迎アトラクション	17:10
5	参加都道府県旗入場・選手団紹介	17:30
6	開式通告	17:45
7	競技会開始宣言	17:46
8	国旗儀礼	17:49
9	大会旗・日本スポーツ協会旗・実施競技団体旗儀礼	17:51
10	大会会長トロフィー返還	17:53
11	日本スポーツ協会あいさつ	17:57
12	スポーツ庁あいさつ	18:00
13	中央競技団体あいさつ	18:03
14	歓迎のことば	18:06
15	選手代表宣誓	18:09
16	閉式通告	18:13
17	役員・選手団解散	18:14

## 【第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会】

### 表 彰 式

期 日 2024年1月31日(水)

場 所 苫小牧市ハイランドスポーツセンター

順	次 第	時 刻
1	開場	14:30
2	役員・選手団集合開始	14:30
3	役員・選手団着席完了	14:59
4	開式通告	15:00
5	成績発表	15:01
6	スケート競技会表彰状授与	15:04
7	スケート競技会大会会長トロフィー授与	15:17
8	中央競技団体あいさつ	15:19
9	会場地あいさつ	15:22
10	国旗儀礼	15:25
11	競技会終了宣言	15:27
12	閉式通告	15:30
13	役員・選手団解散	15:31

式典

## 【第78回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会】

### 表 彰 式

期 日 2024年2月3日(土)

場 所 nepia アイスアリーナ

順	次 第	時 刻
1	開場	15:30
2	役員・選手団集合開始	15:30
3	役員・選手団着席完了	15:59
4	開式通告	16:00
5	成績発表	16:01
6	アイスホッケー競技会表彰状授与	16:04
7	アイスホッケー競技会大会会長トロフィー授与	16:13
8	中央競技団体あいさつ	16:15
9	会場地あいさつ	16:18
10	国旗儀礼	16:21
11	競技会終了宣言	16:23
12	閉式通告	16:26
13	役員・選手団解散	16:27

# 開始式・表彰式参加にあたっての留意事項

## 【開始式】

### 1 会場

開始式は、苫小牧市民会館で行います。

### 2 参加都道府県選手団について

#### (1) 全般

参加人数は各都道府県5名以内です。ただし、前回大会スケート競技会男女総合成績第1位及びアイスホッケー競技会総合成績第1位の北海道は11名以内です。

#### (2) 受付

ア 16時30分から会場1階ホワイエにおいて、選手団の代表者は「選手団受付」で、受付を行ってください。

イ ADカードの提示がない場合等は入場できません。

ウ 受付は17時までに済ませ、17時04分までに指定された選手団席（大ホール1階）に着席してください。

エ 大会会長トロフィー返還者には、係員が返還方法の説明を行いますので、16時40分までに指定された席に着いてください。

#### (3) 参加都道府県旗入場・選手団紹介

ア 旗手については、選手の参加は不要です。

イ 参加都道府県旗は、沖縄県の画像を最初に南の都道府県から順に、最後は北海道の画像をスクリーンへ投影いたします。

ウ 「〇〇〇選手団、団長〇〇〇〇、以下〇〇名の参加です。」と紹介されたら、当該選手団はその場に起立し、周囲に軽く手を振り、会釈をして着席してください。以下、これに続けてください。

#### (4) 選手代表宣誓及び宣誓時の旗手

選手代表宣誓は、北海道選手団代表が行います。その際、各都道府県旗の集合はありません。

#### (5) 退場

式典終了後は、アナウンス・誘導係員の指示に従い退場してください。

## 【表彰式（スケート競技会）】

### 1 会場

表彰式は、苫小牧市ハイランドスポーツセンターで行います。

### 2 参加都道府県選手団について

#### (1) 全般

参加人数はスケート競技会男女総合第1位～8位、女子総合第1位～8位の都道府県から各2名（合計32名）です。

#### (2) 受付

ア 14時30分から、「選手団受付」で受付を行ってください。

イ 受付にてADカードを提示してください。ADカードの提示がない場合等は入場できません。

ウ 受付後は、14時45分までに、指定された受賞者席に着席してください。係員が表彰状及び大会会長トロフィー（各競技会総合成績第1位）の受賞方法について、説明いたします。



## 【表彰式（アイスホッケー競技会）】

### 1 会場

表彰式は、nepia アイスアリーナで行います。

### 2 参加都道府県選手団について

#### （1）全般

参加人数はアイスホッケー競技会総合第1位～8位の都道府県から各2名（合計16名）です。

#### （2）受付

ア 15時30分から、「選手団受付」で受付を行ってください。

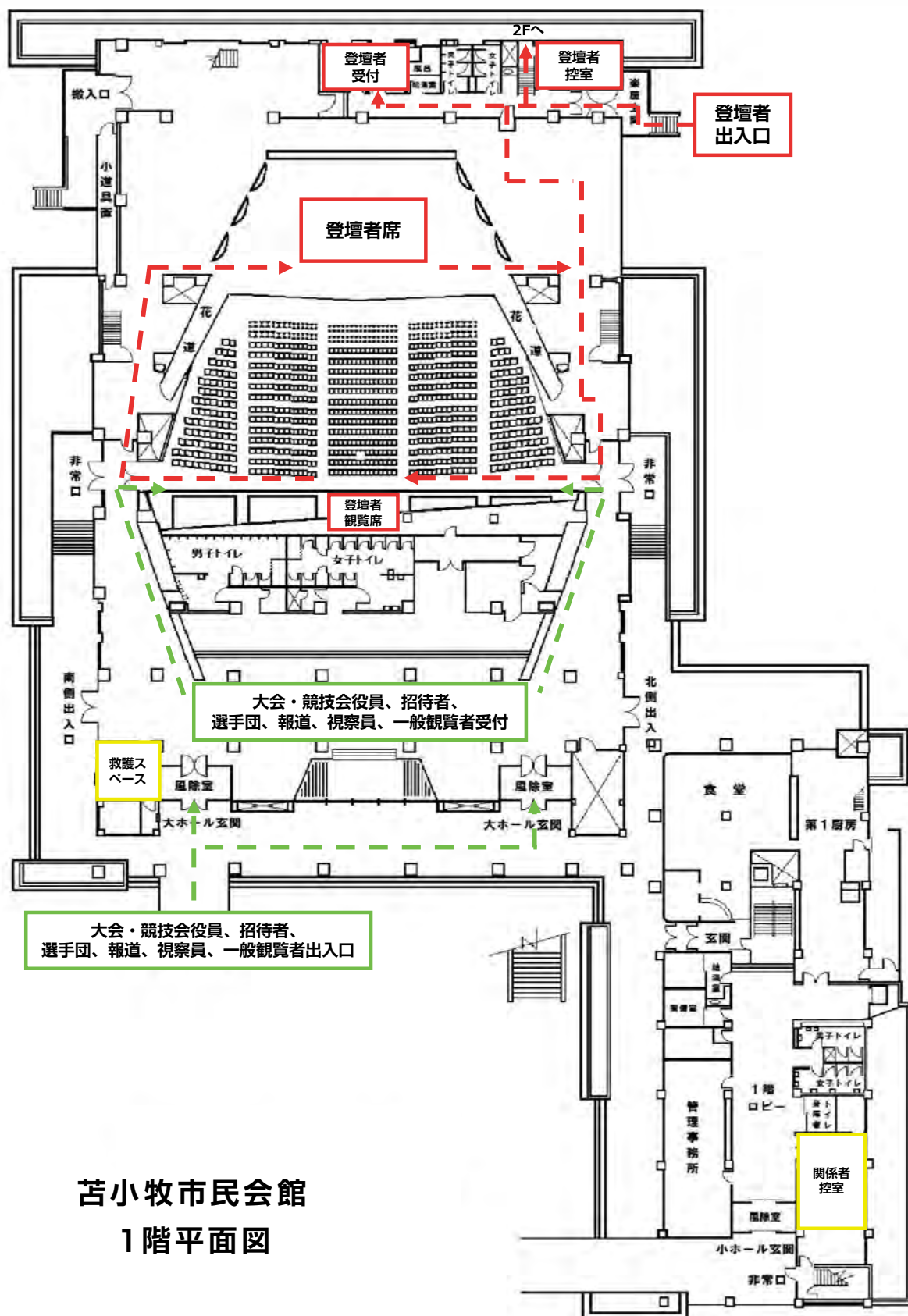
イ 受付にてADカードを提示してください。ADカードの提示がない場合等は入場できません。

ウ 受付後は、15時45分までに、指定された受賞者席に着席してください。係員が表彰状及び大会会長トロフィー（各競技会総合成績第1位）の受賞方法について、説明いたします。

## 【その他】

- 1 開始式の際、都道府県旗を持参する必要はありません。
- 2 開始式・表彰式とも、手荷物は各自で保管してください。
- 3 開始式・表彰式とも、食事の斡旋は行いません。また、会場では飲食できません。
- 4 次第等については、大会ホームページ（<https://kokuspo2024.jp/>）に掲載しております。
- 5 開始式・表彰式とも、会場周辺は駐車スペースに限りがありますので、シャトルバスの利用や乗り合わせでの御来場に御協力ください。

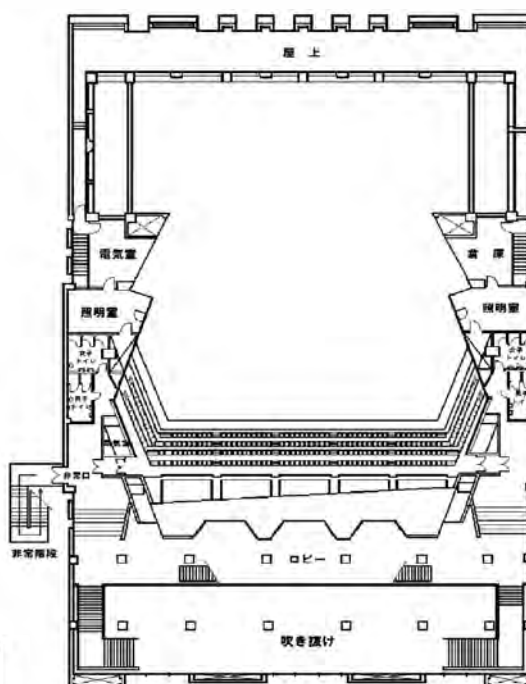
# 開始式会場図



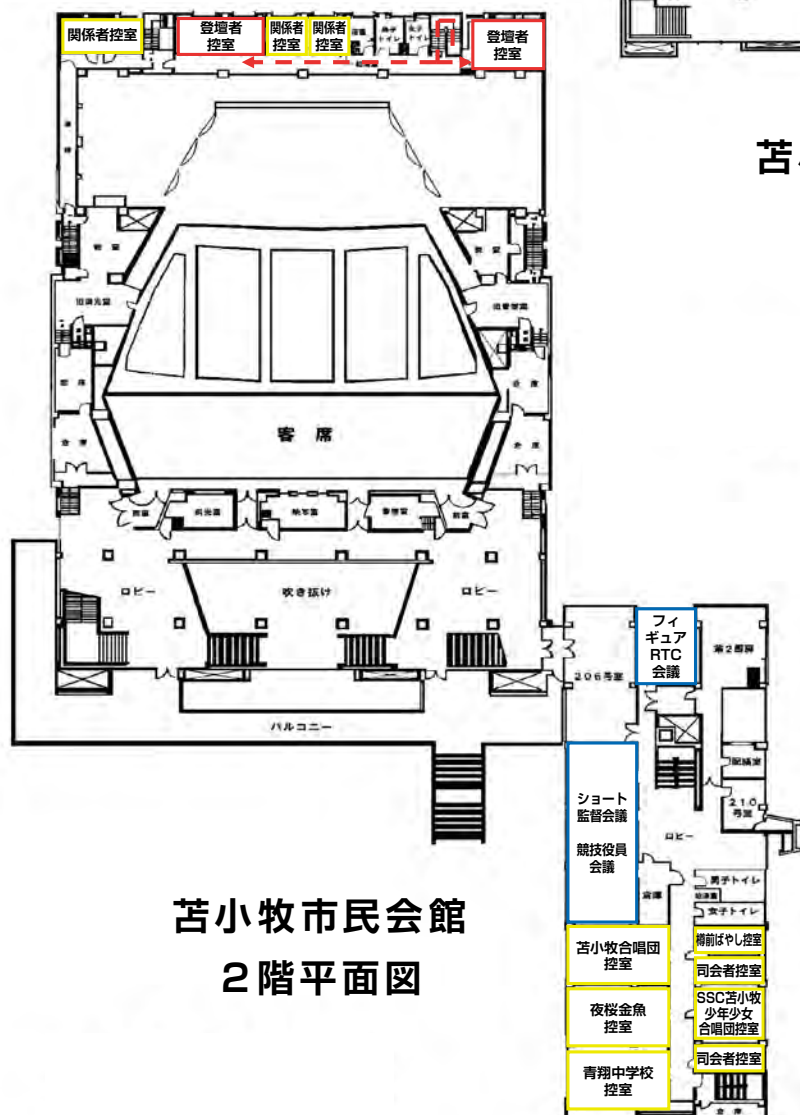
苫小牧市民会館  
1階平面図

# 開始式会場図

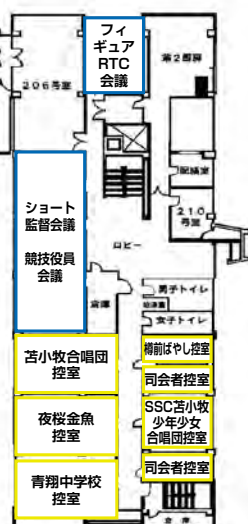
式典



苫小牧市民会館  
3階平面図



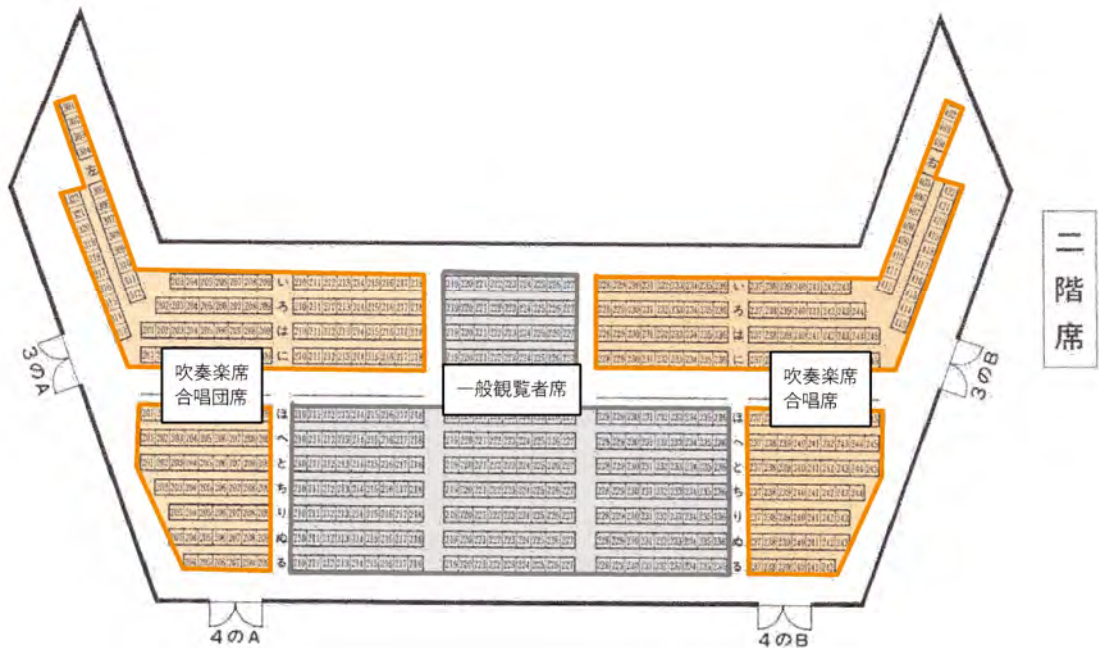
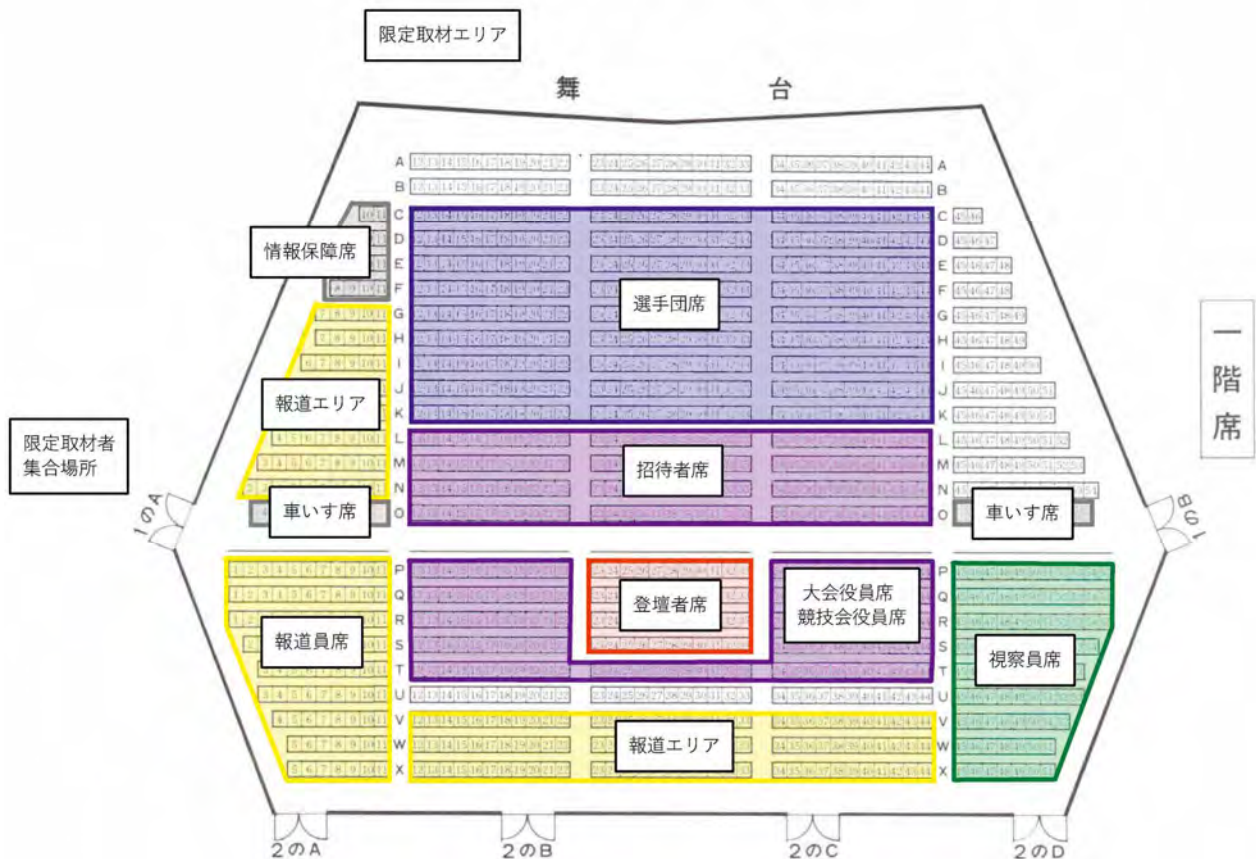
苫小牧市民会館  
2階平面図





# 開始式座席エリア図

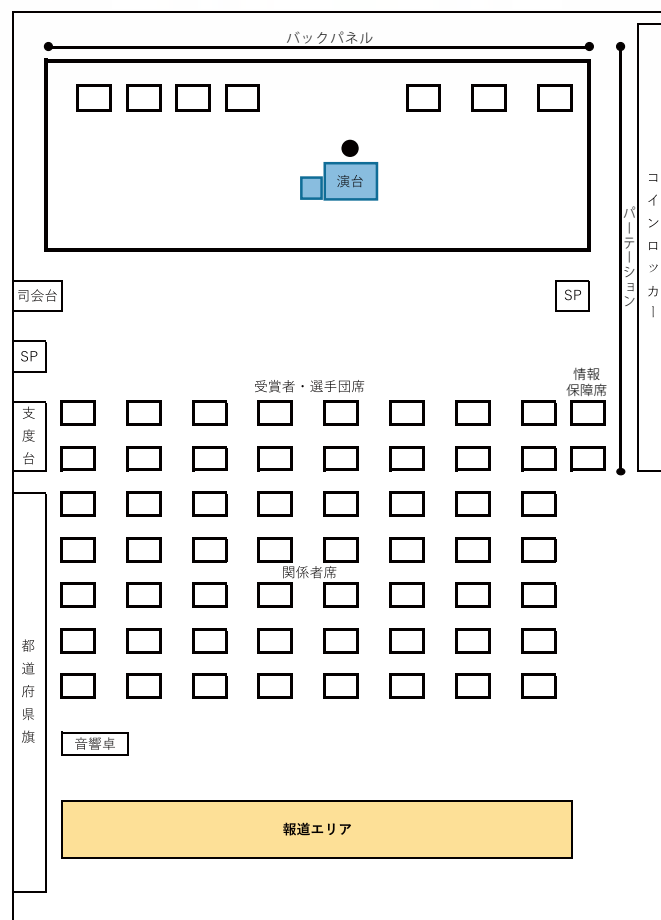
式典



・選手団席	297席	・一般観覧者席	233席
・大会役員競技会役員席	121席	・吹奏楽席合唱団席	291席
・招待者席	132席	・情報保障席	13席
・視察員席	83席		
・報道員席	83席		
		合計	1,253席

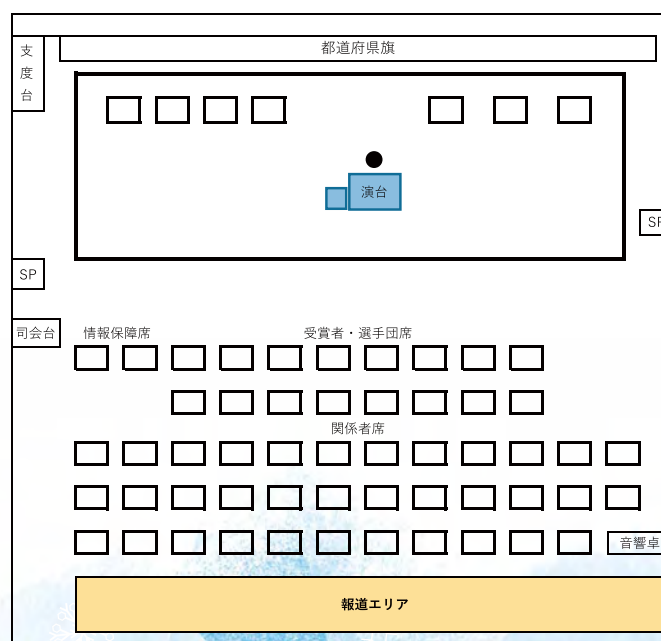


# スケート競技会表彰式座席図



式典

# アイスホッケー競技会表彰式座席図



## 開始式出演者一覧



### アナウンサー 百目木 朱加さん

大学時代から両親が経営する OFFICE NAGATA でアナウンスの指導を受け、ブライダル・式典・セミナー・まつりイベント等、様々な MC を担当しています。その他、企業紹介ナレーションやナレーターを務めています。



### 北海道苦小牧南高等学校 放送局

1976 年、学校開校とともに生徒会の外局として設置し、1978 年から N H K 杯放送コンテストの地区大会に参加するようになりました。現在は生徒会外局として各種行事の放送、記録やコンテストへの参加など積極的な活動を行っています。



### 樽前ばやし

1993 年 12 月苦小牧駅前商店街振興組合青年部が埼玉県秩父市商店街との交流で同市へ行き、国の重要無形文化財「秩父夜祭」の「秩父屋台ばやし」に感銘を受け苦小牧にも郷土芸能になる「まちの音」をつくろうと結成されました。



### 夜桜金魚とまこまい JAPAN

身体が不自由でも健常者と障がい者が一緒に楽しく踊る事を目標に今年で 26 年目をむかえます。人と人との繋がりを大切に笑顔と元気をテーマに、皆が心一つに最高のパフォーマンスで独自の演舞をお届けします。第 31 回 YOSAKOI ソーラン祭り北海道知事特別賞受賞。



### 苦小牧市立青翔中学校 吹奏楽部

2 年生 11 名、1 年生 20 名の 31 名で活動しています。吹奏楽コンクールでは 3 年連続全道大会に出場し、全国大会出場を目標に日々練習しています。地域に愛されるバンドを目指し、感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきます。



### 苦小牧市立和光中学校 吹奏楽部

現在、2 年生 17 名、1 年生 24 名の計 41 名で「笑顔で 楽しく 誠実に」を合言葉に日々基礎力の向上や人間力の向上を目指して明るく活動しております。



### SSC 苦小牧少年少女合唱団

2002 年 8 月 10 日に北海道苦小牧市に誕生しました。団員は、苦小牧市内の小学生から高校生です。SSC とは、Sky Smile Chorus の略で、「広い空に向かって笑顔で歌声を広げよう」という団員の願いがこめられています。



### 苦小牧合唱団

1951 年に発足以来 72 年目を迎えておりますが、尚も苦小牧市の音楽文化向上の一翼を担うべく練習に励んでおります。

© 株式会社苦小牧民報社